

第23回 経営フォーラム 2016 in おおむら

長崎の明日を切り拓くのは、 人を生かす経営の実践だ!!

開催日：2016年10月6日(木) 会場：シーハットおおむら

経営フォーラムニュース



講師 法政大学教授 坂本光司氏



● 記念講演報告

報告者 西 隆治

坂本教授は全国の同友会会員とも交流のある先生です。「現場で頑張る中小企業の研究」をテーマに地域経済の構築を目指し、毎週1回、2回は大学の研究室を飛び出し北海道から沖縄まで、7500社に及ぶ中小企業の実態を調査されたとのこと。

企業経営の目的とは、その会社にかかわるすべての人々を幸せにすること。また、経営において大切にすべき人々とは以下の5人であると坂本教授はおっしゃいます。

- ① 社員とその家族 ② 社外社員とその家族(仕入先・協力企業)
- ③ 現在顧客と未来顧客 ④ 地域住民とりわけ障がい者等社会的弱者 ⑤ 株主・関係機関

記念講演全体を通じての私の感想は、今日のお話が有意義か否か、それはその企業の経営者がどのような経営を目指すのかで決まるといふことです。坂本教授の言われるように社員満足度を第一に考える経営を目指すのか、できない理由を探して今まで通り変わらないのか。「日本で一番大切にしたい会社」を



「日本では、毎年10社前後の会社が表彰されているようですが、長崎県ではまだ表彰された会社がないとのこと。自社をせめて応募基準を満たすことができる会社にするよう努力したい」といいます。

「日本では、毎年10社前後の会社が表彰されているようですが、長崎県ではまだ表彰された会社がないとのこと。自社をせめて応募基準を満たすことができる会社にするよう努力したい」といいます。

座長による分科会報告

第1分科会



田原 新二 会員 (熊本同友会)

第2分科会



松本 一孝 会員 (長崎浦上支部)

第3分科会



中村 こずえ 会員 (長崎出島支部)

第4分科会



金井 政春 会員 (大村支部)

社員と家族を大切に

県中小企業家経営フォーラム
法政大大学院教授が講演



約320人が参加した経営フォーラム
＝大村市、シーハットおおむら

▼長崎新聞 10月12日掲載

県中小企業家同友会の「経営フォーラム2016 in おおむら」がこのほど、大村市幸町のシーハットおおむらであり、法政大大学院政策研究科教授の坂本光司氏が「日本でいちばん大切にしたい会社」と題して記念講演した。

坂本氏は、大切にしたい会社を「業績や勝ち負けではなく、関わるすべての人々の幸せを最優先する経営を実践する企業」と定義。「人を大切にしたい会社は衰退する。社員とその家族の満足度を上げれば会社の業績も上がる」と述べ、大切にしたい会社に通ずる経営学として「Vリスト」をしない「Vサービス」をさせない「V行き」を成果主義をとらない「V社員」に十分な成長機会を与える「V福利厚生」の充実などを挙げた。

フォーラムには県内外から約320人が参加。同友会の松尾慶一代表理事が「長崎県、地域、会社をよくするために同友会を活用してほしい」とあいさつ。会員が「経営戦略」「社員共育」「障害者雇用」「経営指針」の4つの分科会で学んだことを発表した。(左海力也)

第3分科会

小さな一歩を踏み出しました

～初めての障がい者雇用～

株式会社 ミヤタ 代表取締役 **宮田 正一** 氏 (大村支部)
一般社団法人 きらく福祉事業会 サービス **丸山 和美** 氏
障がい者就業支援施設 きらく大村 管理責任者



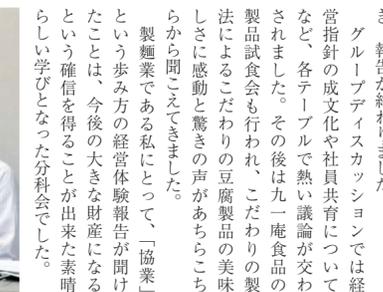
報告者 長崎出島支部 菅原千代枝
宮田さん、丸山さんの報告は今年の3月に女性部会・障がい者問題担当委員会で報告された内容からその後のAさんという方も加わった報告でした。
宮田さんの一般求人の応募を知った丸山さんは、何とかAさんを雇用してもらえないか宮田さんに直談判にいきます。丸山さんの熱意が宮田さんに伝わり、Aさんの雇用に至りました。
宮田さんは、今まで障がい者の実習などは専属の社員をつけていたようですが、なかなかうまくいかず、頭を悩ませていたそうです。しかし、今回は他の社員と一緒に作業してもらい、皆と同じような状況でのAさんの雇用になりました。丸山さんの細かいAさんへの指導、それに応えるようにAさんも成長していききました。ある日、持病にてんかんのあるAさんは、作中に発作を起しました。Aさんはあらかじめ、発作が起きた時はこうして欲しいと宮田さんに伝えてあったため、その場にあった社員の方に処置をしてもらったそうです。社員の方も一緒に仕事をす

第4分科会

経営指針

～豆腐業界ナンバーワン企業を目指して～

九一庵食品協業組合 代表理事理事長 **徳田 信義** 氏 (大村支部)
九一庵食品協業組合 総務部長 **徳田 義彦** 氏 (大村支部)



報告者 島原支部 本多 勝一郎
九一庵食品協業組合での見学分科会でした。報告は徳田信義さんによる創業時のエピソードから始まり、1995年に5つの豆腐会社の一つになり、九州一の豆腐会社となることを目指して九一庵という社名にしたそうです。創業当初は目標の売りに届かず、役員・社員の減給やリストラ、県や銀行への返済据え置き依頼など苦しい状態での経営が続きました。
2003年に同友会の学びの成果の一つとして、経営指針の成文化に着手されました。成文化することによって、①会社全体の意思統一が図れる、②行動と決断の判断基準、③問題解決の手引きとなる、④社員のやる気を引き出すことが出来る、⑤会社の方向性の旗印、羅針盤となる、という5つの利点が生じたことを事例に上げ、経営指針成文化の意義を強調されました。
続いて、徳田義彦さんから毎年3月末の経営計画発表会と年4回四半期ごとに開催される検証会を軸としたPDCAサイクルアップという継続的改善活動の紹介がありました。



また2009年からは「九一庵ブランドの更なる向上、こだわりの周知」を目的とした工場見学を開始し、昨年度は171団体・4630人に来ていただくまでになったそうです。この2つが「お客様が買う理由(ブランド)」を作ることになったと、お話し下さいました。また今年8月21日に開催された九州地区豆腐品評会にて九一庵ブランドの商品が銀賞、銅賞を受賞した際、プレスリリースを迅速に行ったことで、新聞やテレビ・SNSで取り上げられ各方面で報道されたことをお話しされました。
最後に徳田信義さんから5年後10年後の展望として、①更なるブランド向上推進、②全社員が九一庵ブランドを持っていて、③社員が自分の子供を就職させたいと思うような会社になりたい、④5年後は新工場建設を目指す、⑤10年後は売上30億を目指す、という事を力強くお話しください、報告が終わりました。
グループディスカッションでは経営指針の成文化や社員共有についてなど、各テーブルで熱い議論が交わされました。その後は九一庵食品の製品試食会も行われ、こだわりの製法によるこだわりの豆腐製品の美味しさに感動と驚きの声があちらこちらから聞こえてきました。
製菓業である私にとって、「協業」という歩み方の経営体験報告が聞けたことは、今後の大きな財産になるという確信を得ることが出来た素晴らしい学びとなった分科会でした。

また2009年からは「九一庵ブランドの更なる向上、こだわりの周知」を目的とした工場見学を開始し、昨年度は171団体・4630人に来ていただくまでになったそうです。この2つが「お客様が買う理由(ブランド)」を作ることになったと、お話し下さいました。また今年8月21日に開催された九州地区豆腐品評会にて九一庵ブランドの商品が銀賞、銅賞を受賞した際、プレスリリースを迅速に行ったことで、新聞やテレビ・SNSで取り上げられ各方面で報道されたことをお話しされました。

大いに盛り上がり、学びを深めた4つの分科会!

第1分科会

経営指針の作成と自己と自社の成長

～我社の経営戦略は社員の力の集結につきる～

株式会社 美創 代表取締役社長 **田中 芳和** 氏
(熊本同友会 副代表理事)



「自分がどんなに情けない社長であつたか報告をします。」と始まりました。熊本市中心部で不動産開発事業を行っており、田中さんは1989年に一般社員として入社し、2007年に事業の柱であるテナントビルの借入れ負担が大きく会社整理が行われ、営業譲渡を経て存続会社にて営業担当だった田中さんが同社副社長に就任し工事担当者が社長、経理担当が専務と全くの経営素人です。またお客様と社員を引き継ぎ再スタート。しかし二年目の半期には化けの皮がはがれ倒産の危機に陥ります。
今まで固辞してきた社長就任を「このまま逃げてたら一生逃げの人生になる」と覚悟を決め2009年1月社長へ。そこからは自分の思い描いた社長像、4番でエース、ゲームメーカーであるべき、社員の飯は俺が食わしてやっているとこの頃で経営して行きます。報告ではこの頃の田中さんを分かりやすく、座長の田崎さんを社員に見立て演じていただきました。
当時の田中さんは本当に嫌な社長だったように思いました。その頃同

時に会社の資金繰りも悪化し、すさまじい日々を送っており、毎日眉間にしわを寄せ笑顔一つなかったとの事です。
そんな中、先輩の紹介で同友会に参加します。最初はしょうがなく、なんてこんな状況の時にそんな心境で参加していましたが、ある同友会の先輩からの言葉で「人間万事塞翁が馬」「人事を尽くして天命を待つ」「吉」の三つを併せ持たないと行けないという話を聴き、自分自身が覚め、今までの自分は間違っていたと気づき、それから一生懸命同友会活動に取り組みと自分自身が変わって行くのが分かったそうです。すると不思議な事に会社もなんとなく明るくなり、なんとなく笑いが出て、しまいいは業績が良くなりました。「結局俺かい」と気づいたとありました。それから「会社は社員の幸せのためのフィールド」という経営への思いに、社員全員で経営をし、社員全員で経営指針を作り、PDCAでより良い経営及び環境を追求されていくように感じました。
最後に現在に経営が大変良くなったので、良くなりすぎた為に不安も感じていますとありました。田中さんは苦しかった時代にがむしゃらに走ってきた時と比べ温くなったと言いました。力強い報告と経験談に演劇と大変貴重な報告をしていただきありがとうございました。



第2分科会

ミッション経営の実現

～人は「何を」ではなく「なぜ」で動かされる～

株式会社 ドウアインネット 代表取締役 **土井 幸喜** 氏
(長崎出島支部)



まず今後の長崎県の人口の動向、これから起こるのである未来社会への問題等をわかりやすく説明された後に自社の抱えている問題、今後の取り組みを話していただきました。日本一働きたい会社づくりを理念におき社員の夢がどのようにしたら叶う会社なのかを第一に、経営指針づくりの進化にも努力をされたこと事でした。また社員に自社の悪いところなどのアンケートを取りクレームを改善したり、社員の一人一人にその社員の100の良いところを記入した手紙を配布するなど本気で社員の働きやすい会社づくりを心がけている姿勢が伝わって来ました。
報告終了後のディスカッションの中でも、コミュニケーションの取り方の方法や新しいコミュニケーションへの取り組み、また社員が辞める理由は給料の問題だけでは無く人間関係も大きい理由の一つもあるというところを再認識できた良いディスカッションになったと思います。
今回土井さんからは、社長がやりたい事を社員に押し付けるのではなく社長が魅力的になるよう努力し経営理念を社員に浸透させる行動が大事という事を学びました。

懇親 交流会

● 懇親交流会報告

報告者 得田 稔

四重奏のウエルカム演奏でお
迎えた会場は開会前から歓談
される皆さんで大変にぎやかで
した。そして、司会の鮎川さん
と三浦さんの開会宣言で懇親交
流会は始まりました。松尾代表
理事の主催者挨拶と記念講演を
された坂本先生の挨拶、来賓紹
介があり、長崎県知事代理の古
川産業労働部長、そして地元大
村市の園田市長からご祝辞をい
ただき、大村商工会議所中村副
会頭の乾杯のご発声により祝宴
が開かれました。

食事懇談の途中では、この日
までの実行委員会活動を四重奏
BGMでの放映、老若男女によ
るよさこい踊りが会場を更に盛
り上げてくれました。そして
フォーラム当日の各会場での
ホットな映像も流されて、つい
数時間前を振り返った方や他の
分科会や準備状況を知ることが
できた方も多かったのではと思
います。そして、PRの映像が
流れて鹿児島県同友会の皆さん
からの来年2月に開催される中
小企業問題全国研究会の熱い
キャラバンで会場はさらに熱気
いっぱいとなりました。

ナント引継式に。大村支部長の
上谷さんより次回開催地の長崎
浦上支部長の吉澤さんへとペナ
ントが引き継がれました。とし
て、大塚実行委員長の万歳三唱
にて滞りなく無事閉会となりま
した。

会場玄関前では帰りのバスや
タクシーが待つなか、大村支部
会員によるお見送りで再会を誓
いあった会員の皆さんの笑顔が
印象に残りました。多くの方に
ご協力いただき、大いに交流を
深めることができました。皆さ
ん、ありがとうございました。



今回の第23回経営フォー
ラム、実行委員長を務めさせて
いただきありがとうございます。
大村での開催は第1回目を
スタートに今回3回目となりま
した。前回は大村、諫早、島原
3支部合同での実行委員会を組
織して開催に向けて準備してい
きましたが、今回は大村支部を
中心に組織を構成させていただ
き、諫早支部と島原支部の皆さ
んにも応援していただく形での
組織としました。

本日に実行委員会の皆さんを
始め会員の皆さんそして事務局
の皆さんの協力を得て無事盛大
に開催できた事を心より感謝申
し上げます、ありがとうございます。
また、

早速反省会を開催し多くの反
省事項等も出ております。来年
に向けての申し送り事項とし
て、事務局へしっかりと伝え
2017年においては、本年開
催の経営フォーラム以上に素晴
らしい経営フォーラムになるよ
うしていただければ幸いです。

今回の開催に向けては、昨年
経営フォーラム準備委員会を立
ち上げ準備に入りました。そして

**経営フォーラムを終えて
経営フォーラム実行委員長
大塚 真一**



坂本光司先生の記念講演をは
じめ分科会の報告をしていただ
きました。熊本同友会田中副代
表理事、そして土井さん、宮田
さん、丸山さん、徳田さん親子
素晴らしい講演報告をありがと
うございました。また326名
という多くの登録をいただき盛
大に開催することができました
ことを改めて感謝申し上げます。
本日に皆さんお疲れ様でした。



第23回 経営フォーラム 2016 in おおむら ご来賓の皆様

(順不同)

- | | | | |
|--------------------------|---------|---------------------------|---------|
| 長崎県 産業労働部長 | 古川 敬三 様 | 日本政策金融公庫 佐世保支店 支店長 | 長瀬 昭一 様 |
| 大村市長 | 園田 裕史 様 | 商工組合中央金庫 佐世保支店 次長 | 椿 幸仁 様 |
| 大村市 商工観光部長 | 山下健一郎 様 | 十八銀行 大村支店 支店長 | 小佐々佳生 様 |
| 長崎市 商工部長 | 尾上 泰啓 様 | 親和銀行 大村支店 支店長 | 西原 克美 様 |
| 松浦市 商工観光課長 | 川上 利幸 様 | 長崎銀行 大村支店 次長 | 益雪 貴文 様 |
| 大村商工会議所 副会頭 | 中村 人久 様 | たちばな信用金庫 西大村支店 支店長 | 石丸 裕二 様 |
| 大村商工会議所 青年部 会長 | 村岡 公輔 様 | 九州ひぜん信用金庫 大村支店 支店長 | 桑原 司 様 |
| 大村青年会議所 理事長 | 中川 有ニ 様 | NBC長崎放送 常務取締役 | 藤井 潤 様 |
| 長崎県中小企業団体中央会 事務局次長 | 村里 光博 様 | 大村ケーブルテレビ(株) 常務取締役 | 高瀬 英三 様 |
| 日本政策金融公庫 長崎支店 支店長 | 鶴丸 真介 様 | D-FLAG チーフインキュベーションマネージャー | 野村 繁 様 |
| 日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業総括課長 | 後藤 幸司 様 | 長崎県立大村工業高等学校 教頭 | 蒲川 俊浩 様 |